

第二京阪道路工事向けツインクレーン

- 開削工法のトンネル工事向けに2台のL形クレーンを製造し2008年4月に現場に納入しました。
 - ① 定格荷重 2.2t
 - ② スパン 17.5m+8m
 - ③ 揚程 20m
 - ④ 巻上機 2.2t電気ホイス
- 開削工法による大断面4連めがねトンネルの施工に使用するために数々の特徴を装備しています。
 - ① カーブ走行 走行路は全体的に大きなカーブ(最小900R)になっているため、外輪側(2台)と内輪側(2台)を個々のインバータにより回転数を制御してスムーズな走行を可能にしています。
 - ② 急勾配走行 また、走行路は常に勾配が2%~5%のため、ディスクブレーキ付4輪駆動方式とし、さらに、停止時はチェーンラック内のチェーンをかんで停止する構造になっています。
 - ③ 長大スパン 大断面4連めがねトンネルの施工幅は50m以上になるため、スパン17.5m+張り出し有効長さ8mのL形クレーン2台(全有効スパン51m)を僅か33cmの間隔で左右対称に設置しました。
 - ④ 操作性向上 広範囲な施工場所でのクレーンの操作性、視界性、安全性を確保するために運転室(エアコン付)を装備しています。また、作業サイトでの運転も可能にするために無線操作に切り替えることも出来ます。



ツインクレーンとめがねトンネル施工



L形クレーン全景



走行ディスクブレーキとチェーンラック



8m張り出し部